大東市教育委員会だより　　平成２３年１１月３０日発行

えがお大東っ子　第9号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧いただけます。

http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/

子どもたちに励ましの声かけを、「やればできる」自信を！

ー学校・家庭・地域が力を合わせ、大東の子どもの学力の向上をー

本年、６月に実施された大阪府学力・学習状況調査の各市町村別の結果がこの１１月に公表されました。大東市におきましても、市の広報誌「だいとう」11 月号に調査結果の概要を掲載しました。小・中学校共に、すべての（学習内容の）領域について、大阪府と同様の傾向にはあるものの、大阪府の平均正答率を下回る結果となりました。

大東市教育委員会としましても、厳しい学力の現状をしっかり受け止め、改善点を見出し、各学校と連携してより一層、子どもの学力を向上させるための具体的な取組みに全力をあげてまいります。

また、子どもが質問紙に回答する学習状況調査の結果から、子どもの学力向上には家庭生活の様子や地域社会との関わりも大きく影響していることが分かりました。子どもは自分が認められたときに一番力を発揮します。子どもにやる気と自信を育むためにも学校・家庭・地域が一段と連携し、力を合わせてまいりましょう。

学校では

○どの子も学ぶ喜びを感じるため、子ども自身がよく考える授業、仲間と共に学び合い、高め合う授業の工夫改善をします。

○どの子も基礎基本の学習内容を身につけるために、学習規律と学習習慣を大事にし、子どもが目標を持って達成感を味わえる学習機会を増やします。

家庭では

○子どもに自信を持たせるために、子どもの目を見て話を聞き、小さなことでも頑張りをほめましょう。

○子どもが元気に学べるために、「早寝早起き朝ごはん」や「明日の学校の持ち物確認」、「家庭での学習時間」など、生活のリズムを作りましょう。

地域では

○あいさつができる子、「ありがとう」が言える子に育てるために、地域の大人が積極的に子どもに声をかけ、関わりましょう。

○子どもが安心して学べるために、すこやかネットなどの取組みに参加して、地域ぐるみで学校、家庭の教育の応援をお願いいたします。

平成 23 年度

大阪府学力・学習状況調査の結果より

本年 6 月、大東市の小学校 6 年生と中学校 3 年生全員を対象に調査しました

学力調査から

大東市の平均正答率は昨年度（全国学力調査）に比べ、小学校国語Ａ・Ｂ問題、中学校国語Ａ・Ｂ及び数学Ａ問題において大阪府との差は縮まっています。

しかし、依然として基礎・基本的な知識・技能に比べて活用する力に課題があります。また、各教科においては以下のような課題があります。

国語の課題

- 書写、古典に関する知識理解
- 目的を意識して適切に自分の考えを書く力
- 様々な図表やグラフなどを関連させて読みとる力

算数/数学の課題

- 日常生活にあるものから読みとったことをもとに判断する力
- 図形についての知識理解
- 問題文を読み、式にする過程を説明する力
- 図と関連づけて考える力

英語の課題

- 文章を読み、文脈に即した語句を書く力
- 適切な語句を使って日本語の意味に合う英文を書いたり、与えられたテーマに対する自分の考えや、その理由を書く力

こんな取組みをしています―中学校の例―

◆これができれば定期テストはバッチリという、スペシャルワーク（宿題集）を学年で作成し、生徒に見通しを持った家庭学習をさせています。

◆授業で、古文の音読や「書く力」「表現力」を伸ばす作文指導を強化しています。

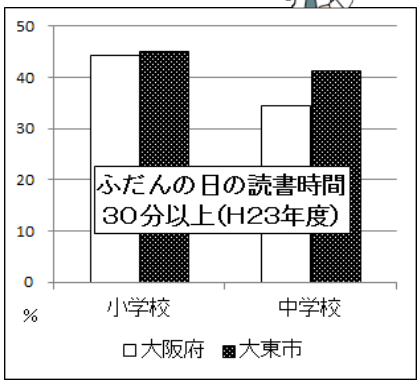
◆定期テストでも、「自分の考えや意見を言葉で表す力」を問う問題を取り入れています。

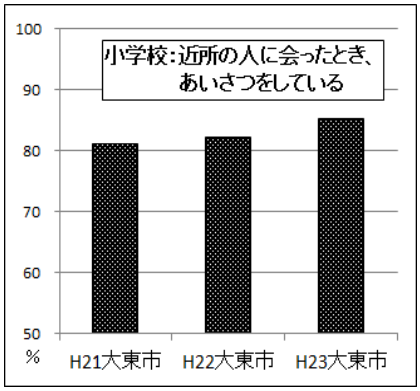
○ご家庭でも、わからないことは子どもと一緒に辞書や参考書で調べてみたり、新聞やニュースの内容を話題にして話し合ったりすることが、子どもの学力を高めることにつながります。

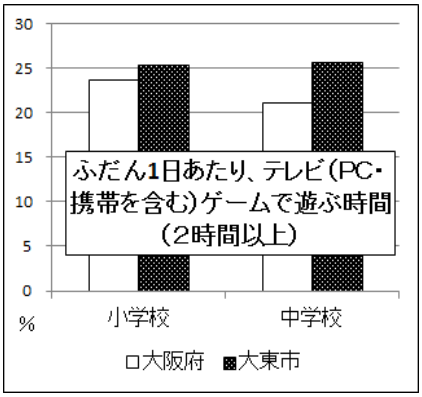
学習状況調査から

市内の多くの小・中学校で、朝の読書・読み聞かせなど読書のための取組みを行っています。その結果、今年度は小・中学校共に「ふだんの日の読書時間が 30 分以上」の児童・生徒の割合が大阪府の値を越えました。家庭でも親子で本に親しむ時間をつくりましょう。

また、保護者の皆様や見まもり隊の方々をはじめ、地域の方々の登下校時におけるご協力があり、「近所の人に会ったとき、あいさつをしている」と答えた児童・生徒は増えてきています。







一方、「ふだん１日あたりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む）で遊ぶ時間が２時間以上」と答えた児童・生徒は年々減少していますが、まだ大阪府の値を越えています。

このような現状を踏まえ、改善していく努力が必要です。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

地域ファミリースポーツ 深野・四条大会

ぜひ来てね！

カローリング

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように大東市スポーツ推進委員を中心に開催しています。

深野ブロックではキンボール、四条ブロックではカローリングの大会を行います。

キンボールは直径 122 ㎝の巨大なボールを使い、４人１チームとし、ピンク・グレー・ブラックに色分けされた３チームがコートに入り、サーブやレシーブを繰り返しながら得点を競います。カローリングは氷上で行うカーリングからヒントを得て、ストーンの代わりにプラスチック製のジェットローラーを9m 先の的にめがけ交互に投じ得点を競います。どちらもルールは簡単‼ご家族、お友だちと参加してみませんか。もちろんお一人でも参加できますよ。（参加申込み：当日会場にて）

○深野ブロック大会（キンボール）
・日時：平成 23 年 12 月 11 日（日）
午前９時 30 分から
・場所：大東市立深野小学校体育館

○四条ブロック大会（カローリング）
・日時：平成 24 年１月 22 日（日）
午前９時 30 分から
・場所：大東市立四条小学校体育館

平成２４年４月から

統合新校「北条小学校」として新たにスタートします！

新・校章

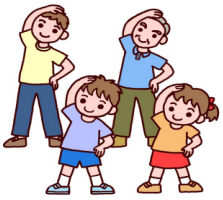
統合準備委員会

大東市では、子どもたちにとって望ましい集団教育の良さを生かし、未来を見据えた学校を作るためには、学校を適正な規模にすることが必要であると考えています。

このため「北条小学校」と「北条西小学校」は、統合して平成２４年４月から「北条小学校」として新しくスタートします。ＰＴＡや地域の方々、学校の先生にも協力してもらい統合のための準備委員会も作って、いろいろな問題に取り組んできました。児童や保護者にも参加してもらって新しい小学校の校章も決まりました。学校統合はひとつひとつ着々と準備が進められています。これからも計画的に統合の準備を行い、来年４月からの新しい「北条小学校」が始まるまで子どもたちが引き続き安心して楽しい学校生活が送れるように教育委員会は万全の体制で臨んでいきたいと考えています。

家庭学習のヒントコーナー

「家庭学習の習慣は歯磨きと同じ」と言われています。歯磨きの初めは親が子どもの手を持って磨き方を教えるように、家庭学習も小学校低学年では「一緒にして、やる気をおこす」、中学年では「認めて、ほめて、自信をつける」、高学年から中学生では「見守って伸ばす」ことが大事です。子どもの集中力に合わせて、学習時間をいくつかに区切って取り組むと効果的です。歯磨きが習慣になるように、家庭学習が子ども１人でも進んでできるように保護者の皆様の温かなかかわりをお願いします。



Daito すこやかネット 訪問 NO. 4

深野中学校区地域教育協議会

子どもと共に地域の友好を深める ふこのスポーツ&カルチャー

オープニング

平成２２年度より、模擬店やフリーマーケットなどが中心だった“ふこのフェスタ”を見直し、「もっと地域の小中学生が交流でき、地域の子どもと大人のつながり、大人同士の関係も深まるものにしよう。」とのねらいのもと、名称も『ふこのスポーツ＆カルチャー』と改め、深野中学校区地域教育協議会のイベントとしました。

体育館で中学校の吹奏楽部、小学校児童やＰＴＡの太鼓演奏などでオープニング。その後、小学生が中学生と一緒に活動できる文化部や運動部のクラブ体験。親子や大人と子ども、大人同士のつながりを深める企画として、サッカー・ラグビー・野球とソフトボールのスピードガン測定・剣道・バレーボールなどのスポーツ、和菓子づくり・お茶会・囲碁・沖縄三線・ヨガ・絵画の文化教室をグランド、体育館、校舎の３つに分かれて同時に開催しました。

今年度は１１月１３日（日）に行い、約６００名の参加があり大盛況でした。

谷川中学校区地域教育協議会

みんなで考えよう地域の子ども パワーアップした 谷中まつり

深野小ソーラン

「みんなで考えよう地域の子ども」を合言葉に活動を続ける谷川中学校区地域教育協議会は今年も地区懇談会の実施、職業体験学習への協力など積極的に活動しています。

また、去る１１月５日（土）には第１２回「谷中まつり」を実施しました。校区内の小中学校児童、同ＰＴＡ、こども会、四條畷保健所、薬物乱用防止委員会青少年指導員会、地域で活動する空手道場、など多くの団体の方が一堂に会し谷中ブラスバンド部のファンファーレで幕を開けました。ステージ発表やプレイゾーンで楽しいひとときを過ごし谷中校区の地域コミュニティーの高まりを実感できる素敵なイベントとなりました。

生徒会の植木市